

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 19 日

相模原市長 殿

## 提出者

住 所 東京都渋谷区渋谷1-16-14

氏 名 東急建設株式会社 東日本建築支店  
執行役員支店長 安藝 実

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-5466-5943

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	東急建設(株) 東日本建築支店		自 管 理 番 号 ( 2915 )
事 業 場 の 所 在 地	東京都渋谷区渋谷一丁目16番14号 (相模原市内の作業所より排出の廃棄物が対象)		TEL(連絡先): 03-5466-5943
計 画 期 間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日 ( 1 年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	Dー建設業 (具体的には)		06:総合工事業
※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	1,984 百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	229		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物発生フロー (別表-1) 参照</li> <li>・処理等工程図 (別表-2) 参照</li> </ul>		
※ 産業廃棄物の種類ごとに記入			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

## 建設副産物対策管理組織図（別表-3）

・作業所は、廃棄物責任者(作業所長又は常駐する上位の社員とする)を定め、建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理に関する業務を行う。

・現業

部門社員を対象とし、昇格に伴う年次研修にて「建設副産物の減量及び適正処理に関する教育」を実施している。

(研修内容)・経営の方針、計画、目標について・適正な分別、保管について・ルール及び社員の役割について・関係法令の概要について

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】						
産業廃棄物の種類数	7	種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。			
① 排出量	1,918.4	t				
(これまでに実施した取組)						
① 現状						
・各支店、事業部にて廃棄物量削減目標を設定し、以下の項目を実施(プレハブ化、ユニット化、パネル化、フレカット化等の推進)(鋼製型枠・樹脂型枠、ティッキプレート等の使用)(分別の徹底による有価物の売却等)(広域認定、再生利用指定制度の積極活用)(新規リサイクルルートの開拓)						
② 計画						
【(令和5年度)目標】						
産業廃棄物の種類数	6	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。			
① 排出量	1,310.0	t				
(今後実施する予定の取組)						
・メーカーリサイクルである広域認定制度の利用促進 建設資材等の納入事業者を含めた排出抑制の取組み推進(納入時の荷姿、梱包材の簡略化) (可能な限り工場加工をし、作業所での端材の発生抑制)						

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・重点分別品目の設定(金属くず、木くず、ダンボール、廃プラスチック類、紙くず、コンがら、石膏ボード、塩ビ、その他がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず)等を設定して分別している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・廃棄物分別ヤードを出来る限り拡大し、品目を増やし分別に努める。 ・廃棄物に関する教育(混合廃棄物の再分別モデルの実施等)を実施し、分別意識の向上を図る。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
		②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。	
(これまでに実施した取組)					
・設計、施工条件が合えば、がれき類・木くず等の再生利用を行っている。					
	② 計画	【(令和5年度)目標】			
		②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。	
(今後実施する予定の取組)					
・引き続き、積極的に再生利用にを努めていきたい。					

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
		⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。	
(これまでに実施した取組)					
・これまでに、自社で中間処理を行ったことはない。					
	② 計画	【(令和5年度)目標】			
		⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。	
(今後実施する予定の取組)					
・今後も、自社で中間処理を行う予定はない。					

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。			
【(令和5年度)目標】			
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			
② 計画			
・今後も、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】			
⑩ 全処理委託量	1,918.4	t	
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,918.4	t	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,918.4	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
(これまでに実施した取組)			
① 現状			
・優良認定処理業者の積極活用。 ・電子委託契約の導入 ・計画的処分場視察 の実施			

【(令和5年度)目標】			
② 計画	⑩ 全処理委託量	1,310.0	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	210.0	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,310.0	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良認定処理業者の積極活用。・認定熱回収業者の積極活用。</li> <li>・マーカリサイクルである広域認定制度の利用促進。</li> <li>・最終処分場の現地確認を極力実施する。</li> </ul>			
※ 事務処理欄			

\* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

## 備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。

また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	ア. 燃え殻
---	--------

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

0.0 t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
tb-1 中間処理委託量  
0.0 tb-2 最終処分委託量  
t(目的別内訳)  
再生利用前委託量  
最終処分前委託量  
下水等放流前委託量  
t

t

t

t

t

t

t

t

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】  
 ⑦ 燃え殻 ⑧ 木くず  
 ⑧ 汚泥 ⑨ 繊維くず  
 ⑨ 廉油 ⑩ 動植物性残さ  
 ウ. 廉油 ⑪ 動植物糞便  
 エ. 廉油 ⑫ 動植物固形不燃物  
 オ. 廉油 ⑬ リサイクル品  
 カ. 廉油カルキ ⑭ 金屬くず  
 キ. 廉油フタル酸 ⑮ 金属くず  
 キ. 廉油くず ⑯ カラス・コンクリート・陶磁器くず  
 キ. 廉油くず ⑰ がれき類  
 キ. 廉油くず ⑱ 動物のふん尿  
 キ. 廉油くず ⑲ 動物の死体  
 キ. 廉油くず ⑳ 人骨  
 キ. 廉油くず ㉑ 混合廃棄物その他

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙に記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
※ フローに記載した産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

1,000.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

1,000.0 t

B-1 中間処理委託量

1,000.0 t

B-2 最終処分委託量

t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

t

b-1 中間処理委託量

0.0 t

b-2 最終処分委託量

t

(目的別内訳)

再生利用前委託量

t

最終処分前委託量

t

下水等放流前委託量

t

1,000.0 t

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】

ア. 燃え殻 2. 木くず 7. 繊維くず 12. がれき類

イ. 汚泥 3. 繊維くず 8. 動植物性残さ 13. 動物のふん尿

ウ. 廉油 9. 動植物系固形不雑物 14. 動物の死体

エ. 廉液 10. 動植物系固形不雑物 15. 動物の死体

オ. 塩カルカ 11. ごみくず 16. 未定

カ. 塩フタル酸カルカ 12. 金属くず 17. 混合廃棄物その他

キ. カルブチック類 13. 金属くず 18. 未定

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

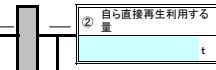
本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
---

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

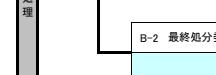
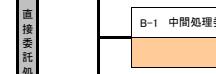
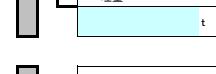
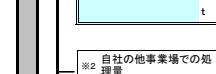
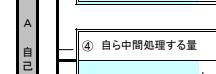
ウ. 廃油



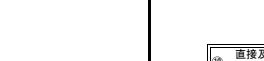
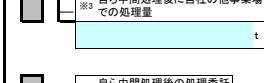
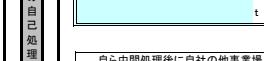
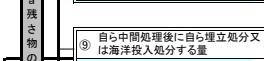
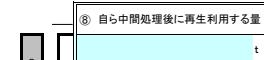
t

※2 自社の他事業場からの搬入量

t



事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 良好認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】

ア. 燃え殻	イ. 汚泥	ウ. 廃油	エ. 廃液	オ. 割剤カルキ	カ. 廃フタル酸	キ. キ	ラ. 木くず	ミ. 繊維くず	リ. 動植物性残さ	ヲ. 動植物のふん尿	ヲ. 動植物の死体	リ. 土壤汚染物	ヲ. 灰じり	リ. 混合廃棄物その他
タ. がれき類	タ. がれき類	タ. 動植物の死体	タ. 土壤汚染物	シ. ジ. ジ. ジ.	ス. 金屬くず	ス. カラス・コンクリート・陶磁器くず								

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙に記載した産業廃棄物の種類	工、廃酸
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量  
0.0 t※1 自社の他事業場からの搬入量  
t② 自ら直接再生利用する量  
t③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量  
t④ 自ら中間処理する量  
t⑤ ④のうち熱回収を行う量  
t※2 自社の他事業場での処理量  
tB 直接処理委託量  
0.0 t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

a 残さ物の自己処理  
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
tb 残さ物の委託処理  
b-1 中間処理委託量  
0.0 tb-2 最終処分委託量  
t(目的別内訳)  
再生利用前委託量  
最終処分前委託量  
下水等放流前委託量  
tb-3 他のうち再生利用業者への処理委託量  
0.0 tb-4 ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量  
tb-5 ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量  
tb-6 ⑫のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t【産業廃棄物の種類(ア~ト)】  
ア. 常温一般  
イ. 汚泥  
ウ. 廃油  
エ. 廃液  
オ. 削減カルカリ  
カ. 廃フタル酸類  
キ. 削くず  
ラ. 木くず  
カ. 繊維くず  
コ. 動植物性残渣  
モ. 動植物系固形不燃物  
ソ. ソーダくず  
ス. 金属くず  
セ. カラス・コンクリート・陶磁器くず  
リ. 茶葉  
タ. がれき類  
チ. 動物のふん尿  
リ. 動物の死体  
フ. 乾いた土  
ト. 混合廃棄物その他

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量  
0.0 t※1 自社の他事業場からの搬入量  
t② 自ら直接再生利用する量  
t③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量  
t④ 自ら中間処理する量  
t⑤ ④のうち熱回収を行う量  
t※2 自社の他事業場での処理量  
tB 直接処理委託量  
0.0 t⑥ 自ら中間処理後の残さ量  
0.0 t⑦ 自ら中間処理により減量した量  
0.0 t⑧ +⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量  
0.0 t⑩ 全処理委託量  
0.0 t⑪ 優良認定処理業者への処理委託量  
0.0 t⑫ 再生利用業者への処理委託量  
0.0 t⑬ 認定熱回収業者への処理委託量  
0.0 t⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
0.0 t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
tb-1 中間処理委託量  
0.0 tb-2 最終処分委託量  
t(目的別内訳)  
再生利用前委託量  
最終処分前委託量  
下水等放流前委託量  
tb-3 他のうち再生利用業者への処理委託量  
0.0 tb-4 ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量  
tb-5 ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量  
tb-6 ⑫のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】

ア. 燃え殻	イ. 汚泥	ウ. 廃油	エ. 廃液	オ. 削除ルカリ	カ. 廃フタル酸類	キ. キクチ	ラ. 木くず	ケ. 繊維くず	コ. 動植物性残さ	モ. 動植物系固形不溶物	ソ. 金屬くず	ヌ. 金属くず	リ. 紙くず	タ. がれき類	チ. 動物のふん尿	リ. 動物の死体	フ. 乾いた土	ト. 混合廃棄物その他
--------	-------	-------	-------	----------	-----------	--------	--------	---------	-----------	--------------	---------	---------	--------	---------	-----------	----------	---------	-------------

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙に記載した産業廃棄物の種類	カ、廃プラスチック類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

50.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

50.0 t

B-1 中間処理委託量

50.0 t

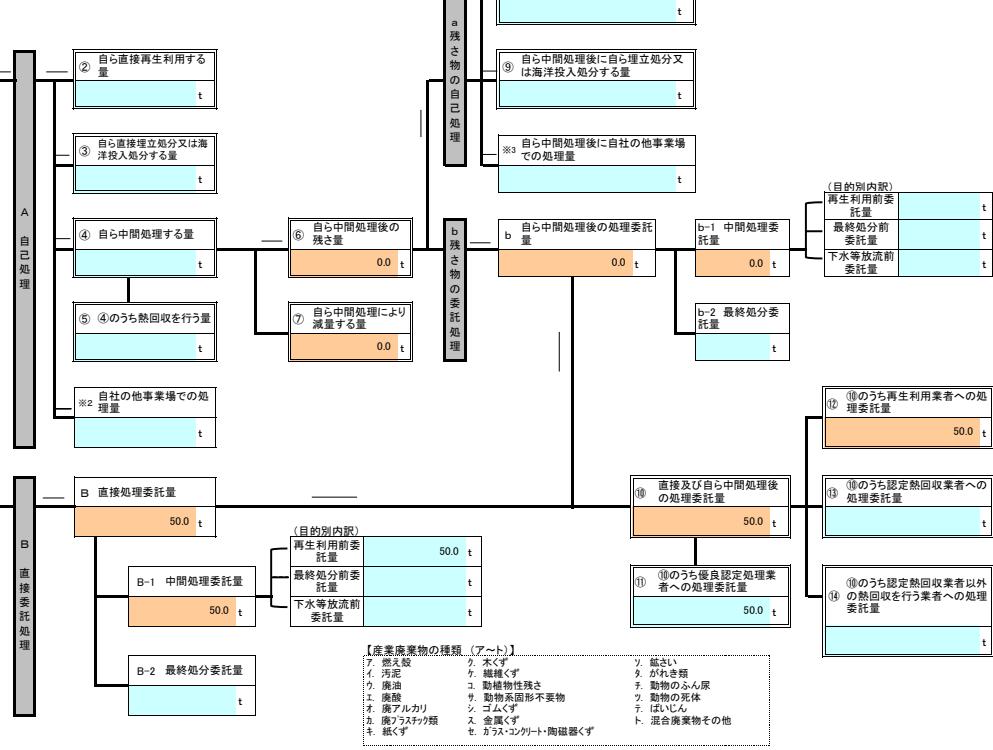
B-2 最終処分委託量

t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	275.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑪ 全処理委託量	275.3 t
⑫ 優良認定処理業者への処理委託量	275.3 t
⑬ 再生利用業者への処理委託量	275.3 t
⑭ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑮ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



【産業廃棄物の種類(ア~ト)】	
ア 燃え殻	ラ 木くず
イ 汚泥	カ 繊維くず
ウ 廃油	コ 動植物性残さ
エ 廃液	モ 動植物固形不要物
オ 廃アルカリ	ソ ジンコウ
カ 廃フタル酸類	ヌ 金属くず
キ 焼くず	セ カラス・コンクリート・陶磁器くず

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑫ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量  
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

廃棄物の種類	キ、紙くず
--------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

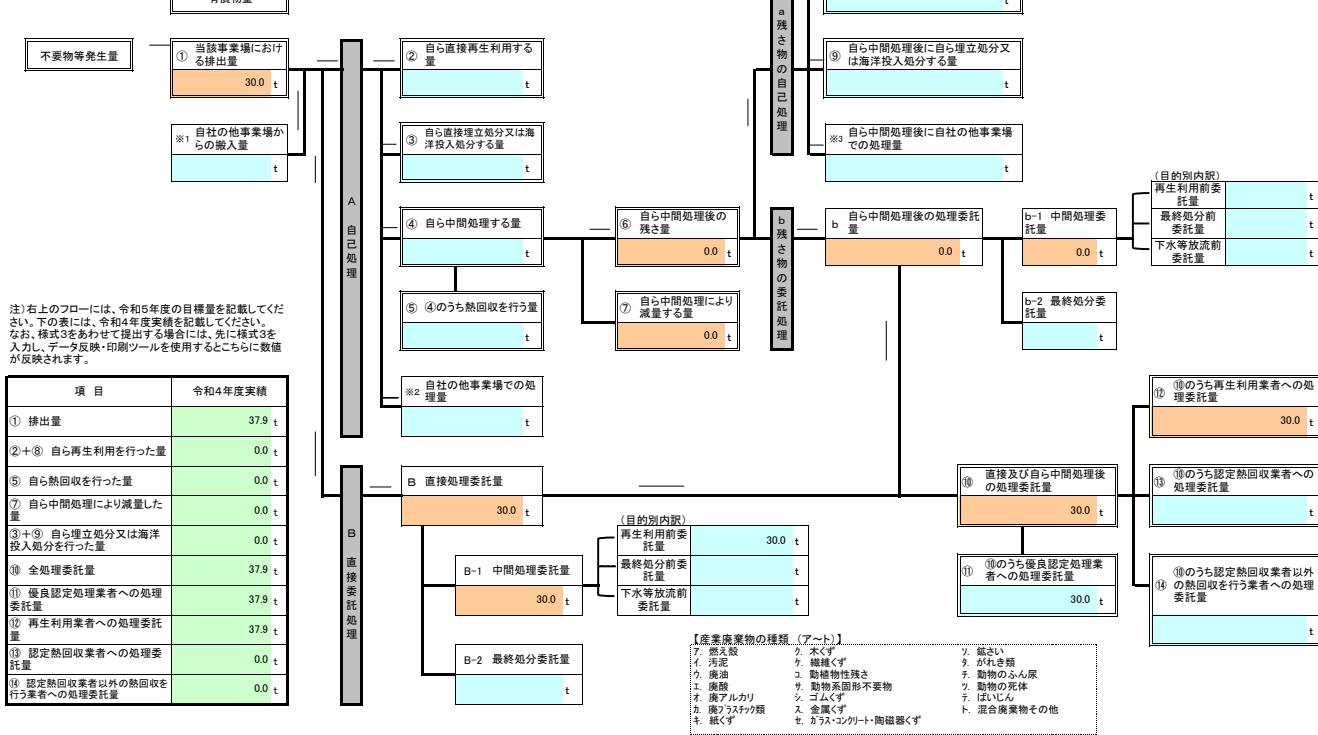
(単位:t/年)

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。

【該当業種】パルプ、紙は加工品の製造業、新聞業(新聞取扱紙を使用して印刷発行を行うもの)、出版業(印刷出版を行うもの)、製本業、印刷物加工業、建設業(工作物の新設、改築、除去に伴って生じたもの)

2-2 法定 ○ 自主

事業場名稱 : 東急建設(株)東日本建築支店



産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

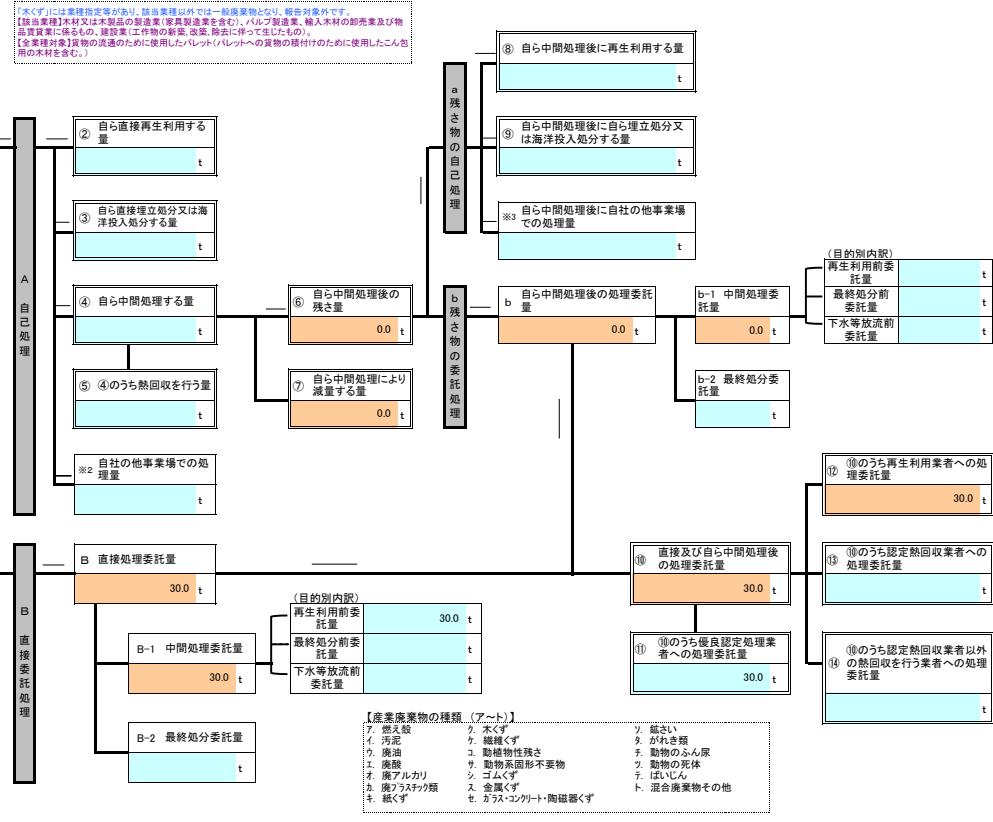
フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ. 木くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、前に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	198.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	198.8 t
⑪ 良好認定処理業者への処理委託量	198.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	198.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



## 産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ、繊維くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量	
------	--

不要物等発生量	
---------	--

① 当該事業場における排出量	0.0 t
----------------	-------

※1 自社の他事業場からの搬入量	t
------------------	---

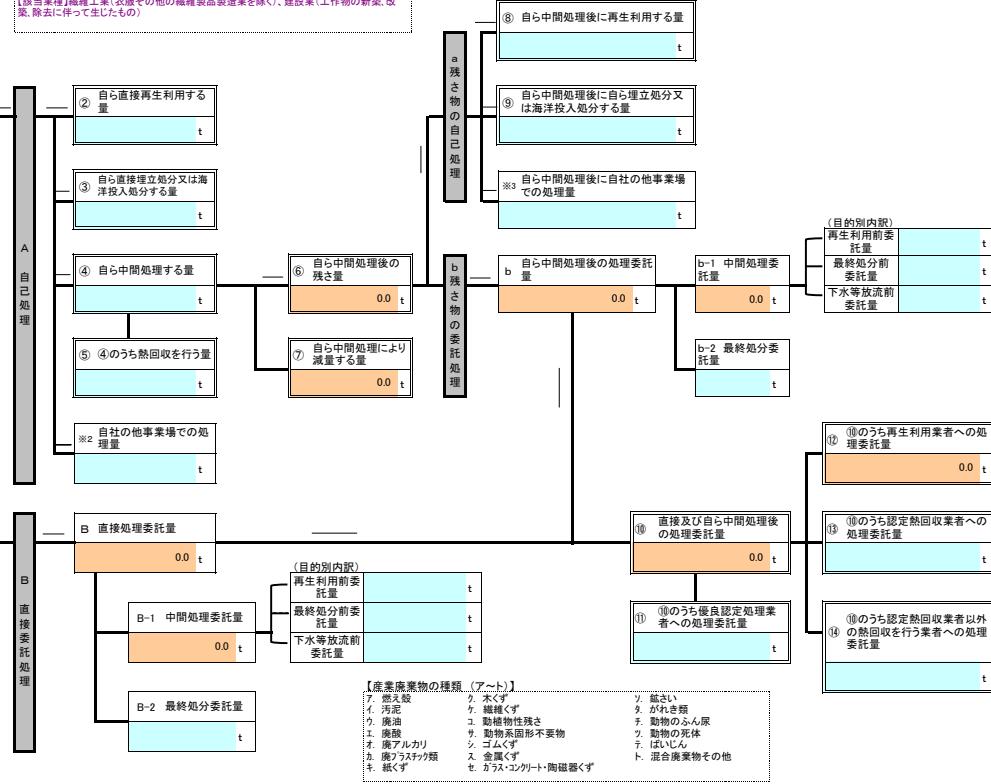
注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【組織くず】には処理指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)

事業場名稱 : 東急建設(株) 東日本建築支店

2-2 法定 ○ 自主



## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

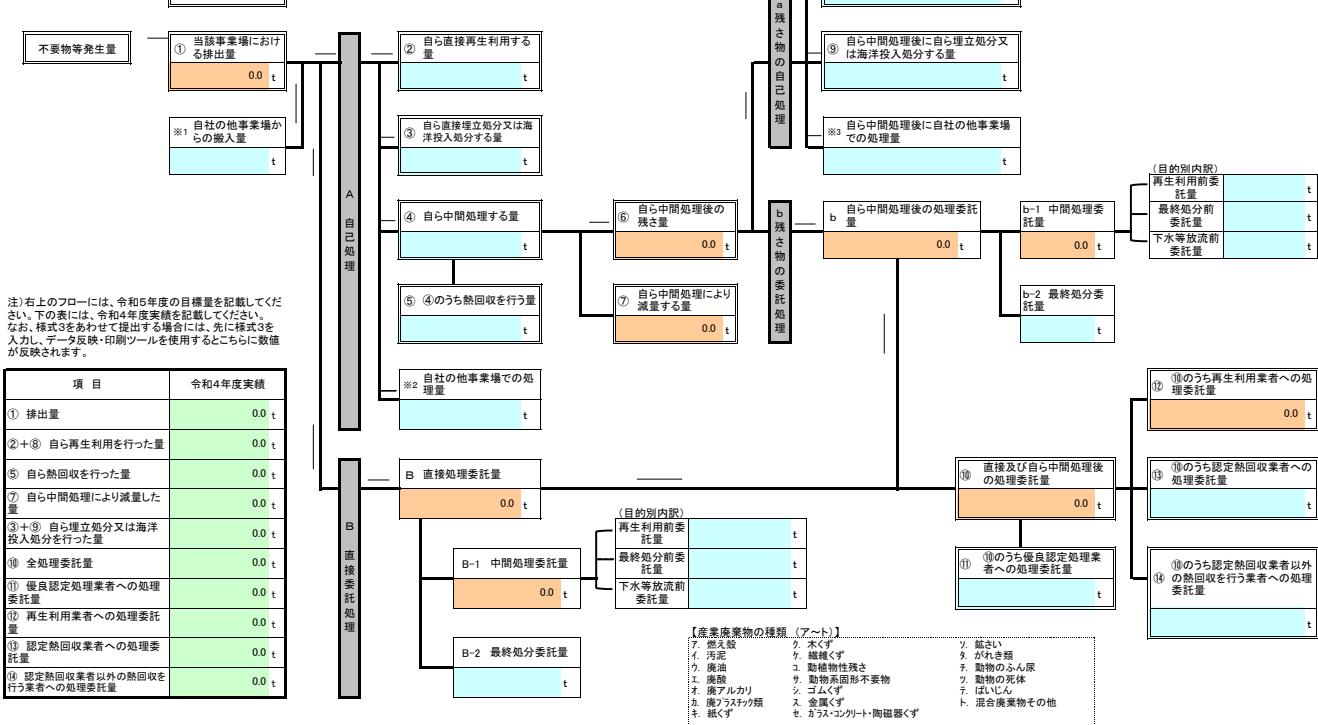
## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	コ. 動植物性残さ
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)

「動植物性残さ」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物



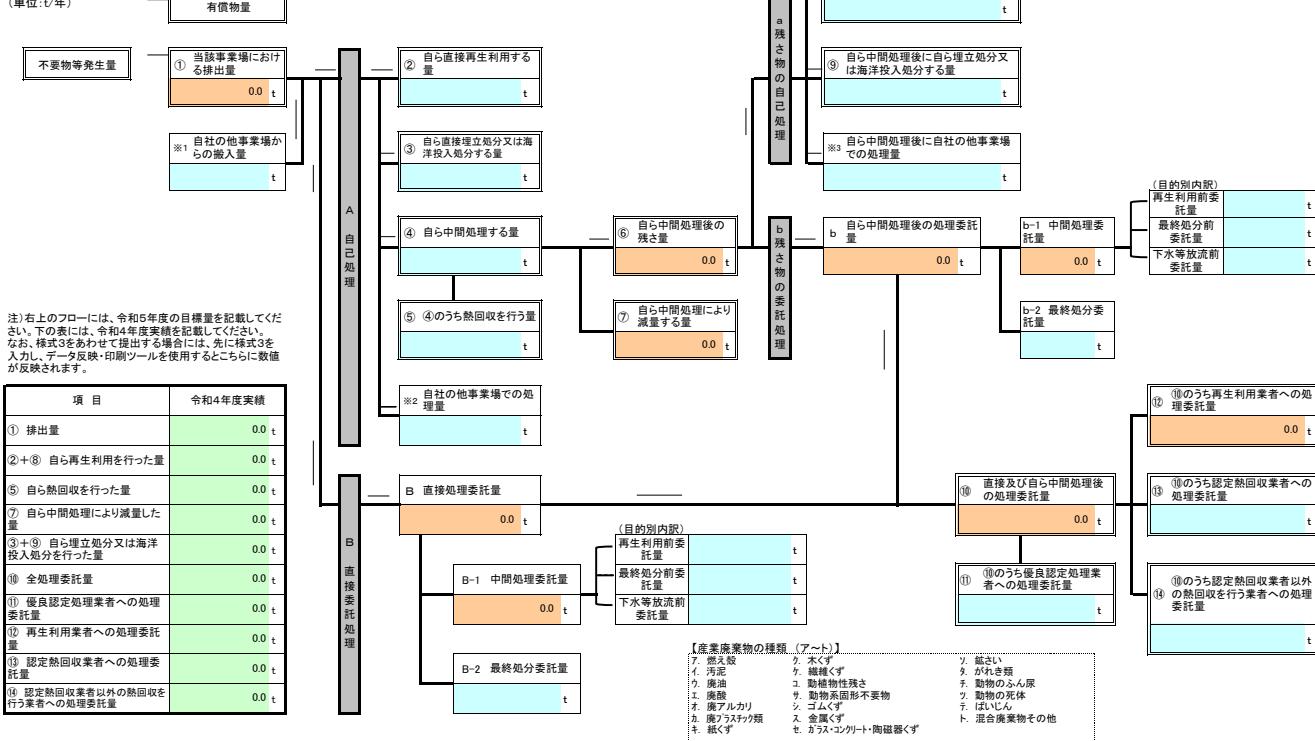
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

#### 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	サ. 動物系固形不要物
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(单位:t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自然熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 便用認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者による外熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「動物系固形不要物」には菜種指定があり、該当菜種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当菜種】と畜場においてとさつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

2-2	法定	自主
	○	

ANSWER

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】	
ア. 燃え殻	ク. 木くず
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず
ウ. 廉油	コ. 動植物性廃棄物
エ. 腐酸	サ. 動植物系固形不要物
オ. 塵アルカリ	シ. ゴムくず
カ. 塗ラスト糊類	ス. 金属くず
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

② 自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

0.0 t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
tb-1 中間処理委託量  
0.0 tb-2 最終処分委託量  
t(目的別内訳)  
再生利用前委託量  
最終処分前委託量  
下水等放流前委託量  
tb-3 他のうち再生利用業者への処理委託量  
0.0 tb-4 ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量  
tb-5 ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量  
tb-6 ⑫のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t【産業廃棄物の種類(ア~ト)】  
ア. 常設般  
イ. 汚泥  
ウ. 廃油  
エ. 廃液  
オ. 削除カルカ  
カ. 廃フタル酸類  
キ. 廃くず  
ラ. 木くず  
ケ. 繊維くず  
コ. 動植物性残さ  
モ. 動植物系固形不燃物  
ソ. ごみ  
ス. 金属くず  
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず  
リ. 茶青い  
タ. がれき類  
チ. 動物のふん尿  
リ. 動物の死体  
フ. 乾いたごみ  
ト. 混合廃棄物その他

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

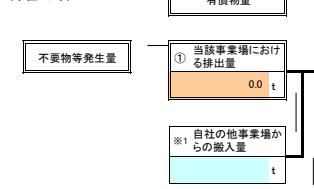
## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

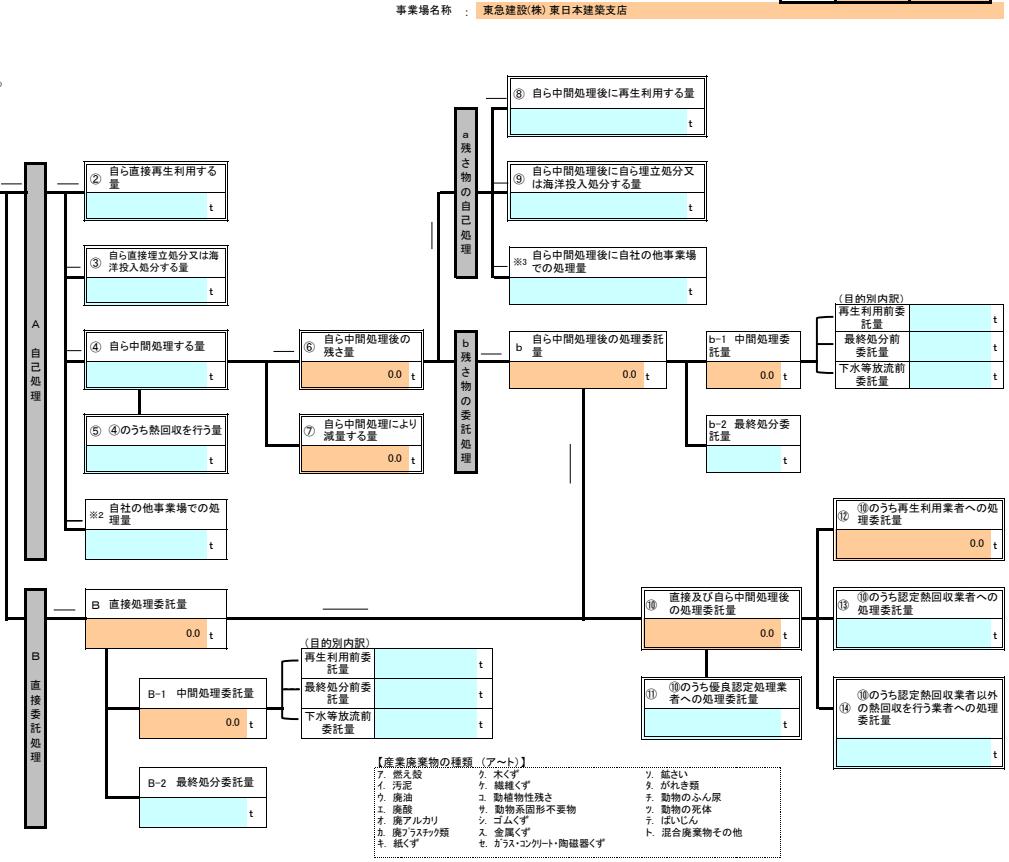
## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	ス、金属くず
(単位:t/年)	有価物量



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



【産業廃棄物の種類(ア~ト)】	
ア. 燃え殻	ラ. 木くず
イ. 汚泥	カ. 繊維くず
ウ. 廃油	ク. 動植物性残さ
エ. 廃液	メ. 動植物系固形不要物
オ. 剥離カルキ	ソ. リサイクル物
カ. 廃フジテック類	ス. 金属くず
キ. キ	セ. カラストンクリート・陶磁器くず



## 産業廃棄物処理計画書

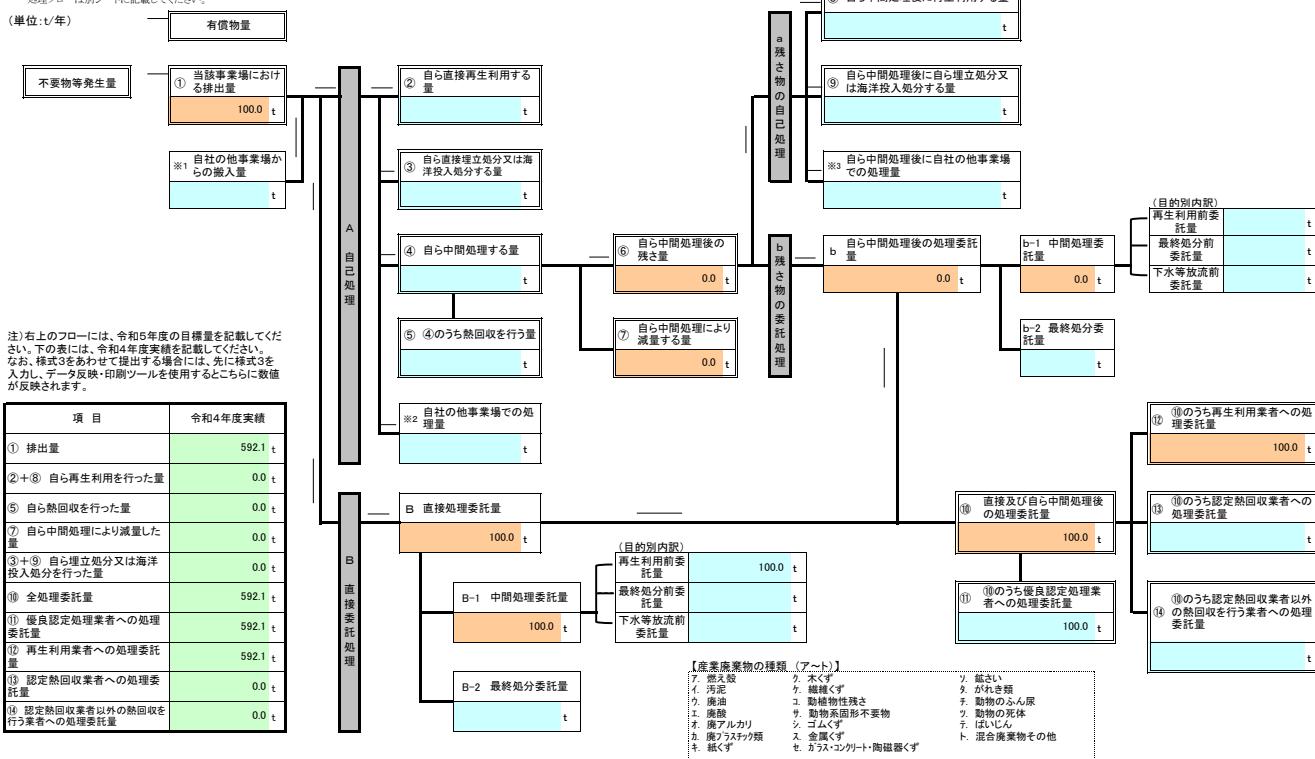
2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
---

(単位:t/年)

有価物量

※ フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量

t

自ら直接再生利用する量

t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

④ 自ら中間処理する量

t

⑤ ④のうち熱回収を行う量

t

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量

0.0 t

※2 自社の他事業場での処理量

t

B 直接処理委託量

0.0 t

B-1 中間処理委託量

0.0 t

B-2 最終処分委託量

t

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量

t

b-1 中間処理委託量

0.0 t

b-2 最終処分委託量

t

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

0.0 t

⑪ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量

t

⑫ ⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量

t

⑬ ⑫のうち再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑭ ⑬のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

t

⑮ ⑭のうち認定熱回収業者への処理委託量

t

⑯ ⑮のうち熱回収を行なう業者への処理委託量

t

⑰ ⑯のうち熱回収を行なう業者への処理委託量

t

⑲ ⑰のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

⑳ ⑲のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉑ ㉐のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉒ ㉑のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉓ ㉒のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉔ ㉓のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉕ ㉔のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉖ ㉕のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉗ ㉖のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉘ ㉗のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉙ ㉘のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉚ ㉙のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉛ ㉚のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

㉜ ㉛のうち混合廃棄物その他の処理委託量

t

注:右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】

ア.燃え殻、カ.木くず

イ.汚泥、ク.繊維くず

ウ.廃油、コ.動物性残さ

エ.廃液、モ.動物糞便形不要物

オ.アルカリカルカ.骨格くず

カ.アルカリカルカ.金属くず

キ.カルボンクリート・陶磁器くず

リ. 紙くず

タ. がれき類

チ. 動物のふん尿

リ. 動物糞便

リ. 動物の死体

フ. 乾いた土

ト. 混合廃棄物その他

## 産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

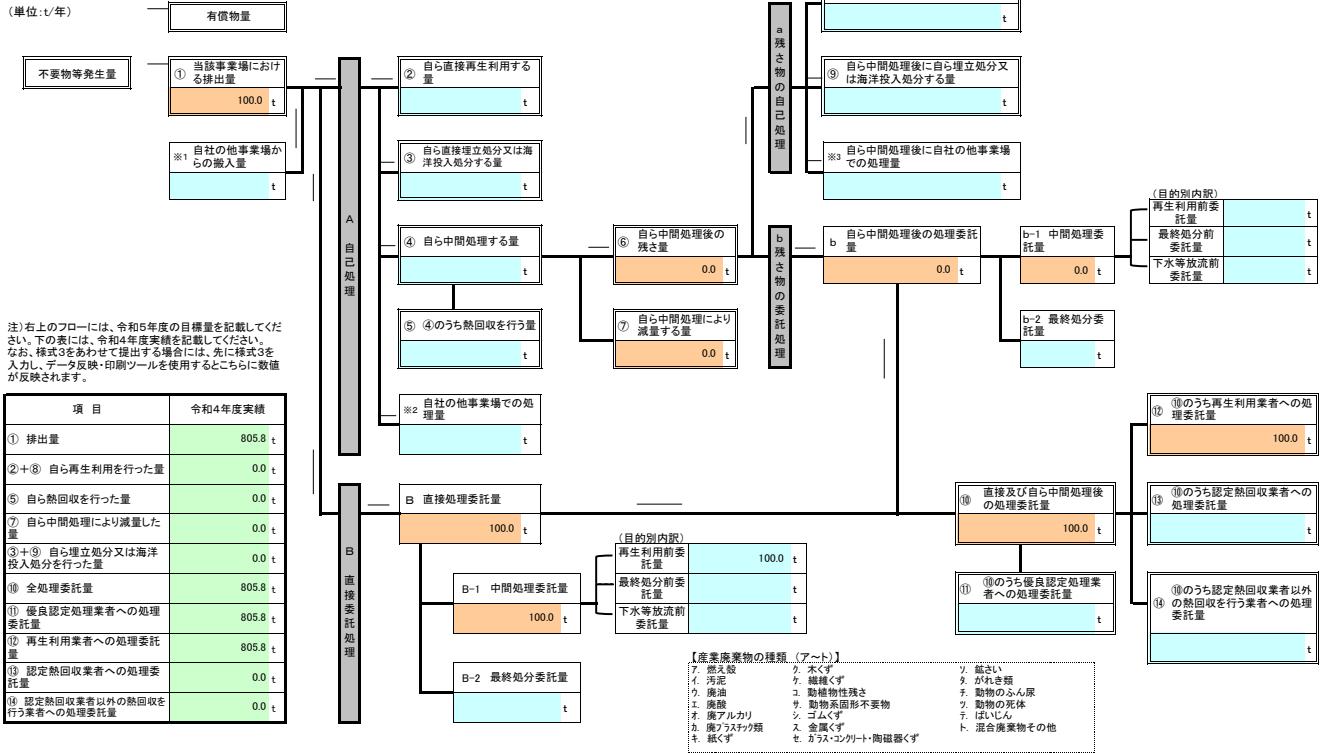
本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

タ. がれき類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	805.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	805.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	805.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	805.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
---

(単位:t/年)

有価物量
------

不要物等発生量
---------

① 当該事業場における排出量 0.0 t
-------------------------

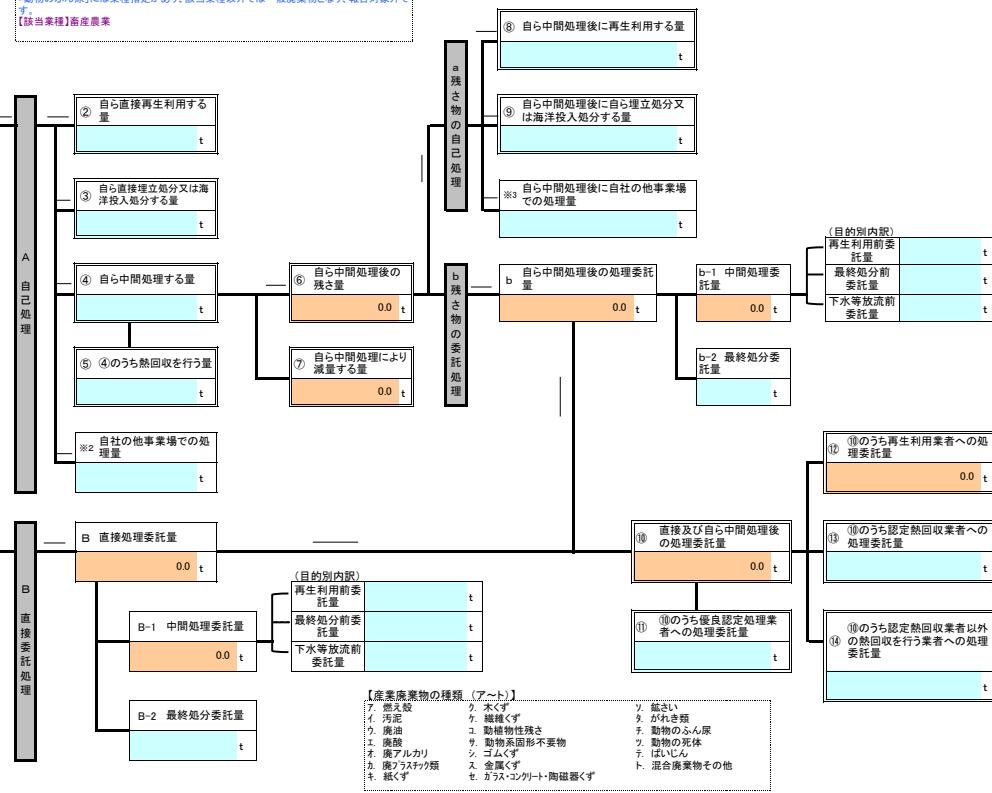
※1 自社の他事業場からの搬入量 t
-----------------------

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「動物のふん尿」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】畜産農業

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店



## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
---

(単位:t/年)

有価物量
------

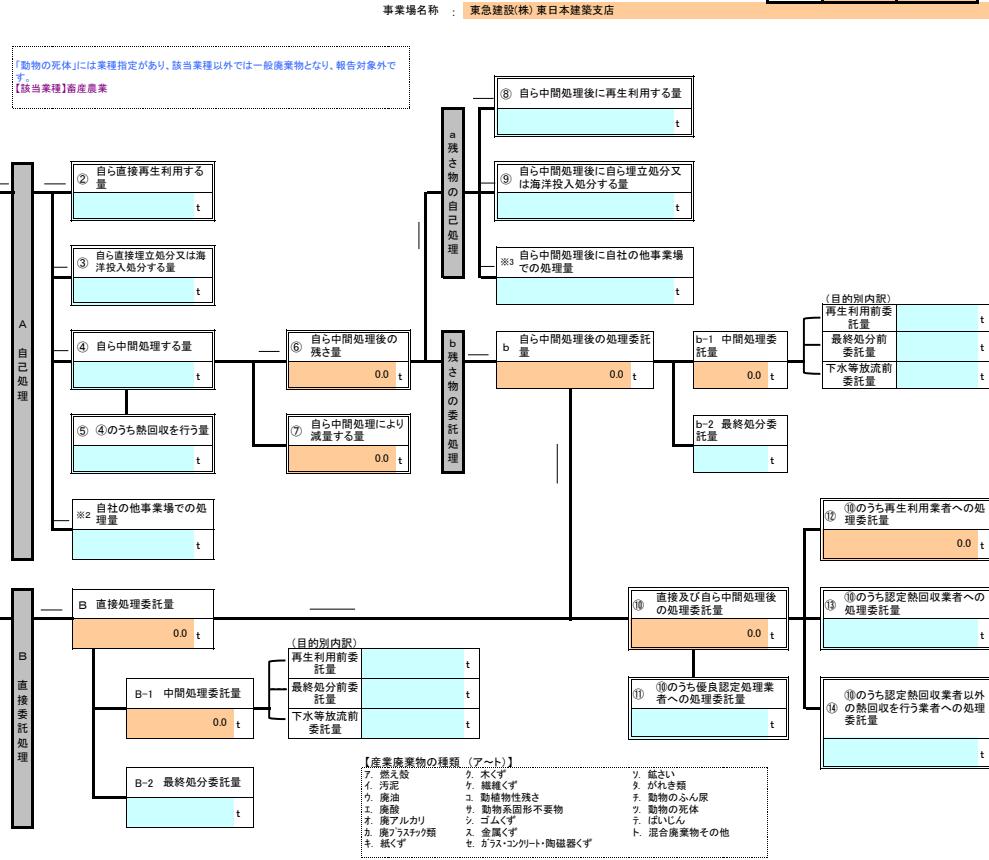
不要物等発生量
---------

① 当該事業場における排出量 0.0 t
-------------------------

※1 自社の他事業場からの搬入量 t
-----------------------

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。  
なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を  
入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値  
が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



## 産業廃棄物処理計画書

2-2 法定 ○ 自主

## 別紙処理フロー

## 令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

テ. ばいじん

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

自社の他事業場からの搬入量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

自ら直接再生利用する量

t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

t

自ら中間処理する量

t

④ うち熱回収を行う量

t

自ら中間処理により減量した量

0.0 t

③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

0.0 t

⑩ 全処理委託量

0.0 t

⑪ 優良認定処理業者への処理委託量

0.0 t

⑫ 再生利用業者への処理委託量

0.0 t

⑬ 認定熱回収業者への処理委託量

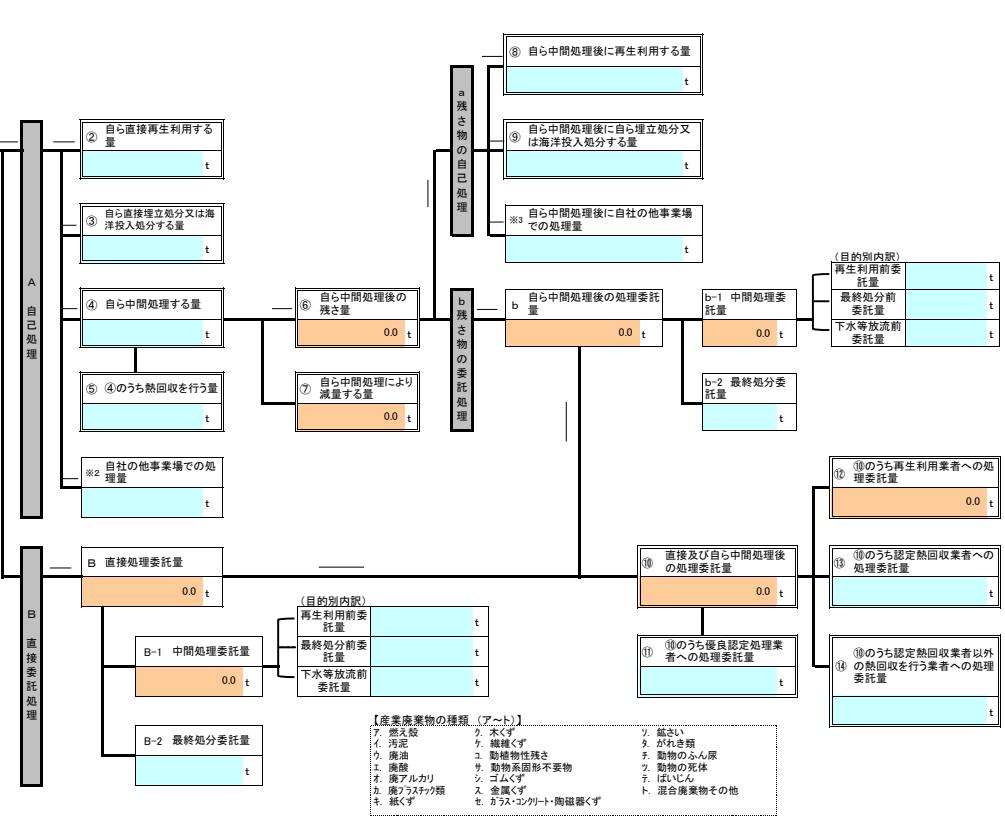
0.0 t

⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0.0 t

(注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



## 産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有価物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

ト. 混合廃棄物その他

※ フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

② 自ら直接再生利用する量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

④ 自ら中間処理する量

⑤ ④のうち熱回収を行う量

⑥ 自ら中間処理後の残さ量

⑦ 自ら中間処理により減量する量

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量

B-1 中間処理委託量

B-2 最終処分委託量

⑪ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ ⑫のうち認定熱回収業者への処理委託量

⑬ ⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑭ ⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑮ ⑮のうち再生利用業者への処理委託量

⑯ ⑯のうち認定熱回収業者への処理委託量

⑰ ⑰のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑱ ⑱のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

事業場名称 : 東急建設(株) 東日本建築支店

2-2 法定 ○ 自主

a 残さ物の自己処理

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

※<sup>3</sup> 自ら中間処理後に自らの他事業場での処理量

b 残さ物の委託処理

b-1 中間処理委託量

b-2 最終処分委託量

⑪ ⑪のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ ⑫のうち認定熱回収業者への処理委託量

⑬ ⑬のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑭ ⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

(目的別内訳)  
再生利用前委託量  
最終処分前委託量  
下水等放流前委託量

⑮ ⑮のうち再生利用業者への処理委託量

⑯ ⑯のうち認定熱回収業者への処理委託量

⑰ ⑰のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑱ ⑱のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

【産業廃棄物の種類(ア~ト)】

ア. 常温一般  
イ. 汚泥  
ウ. 廉油  
エ. 液體  
オ. 粉末  
カ. 粉末カルキ  
カ. 粉末フタル酸  
キ. キ  
木くず  
繊維くず  
動物性残さ  
動物糞固形不溶物  
ゴミ  
金属くず  
金屬くず  
ガラス・コンクリート・陶磁器くずリ. 繊維  
タ. がれき類  
チ. 動物のふん尿  
リ. 動物の死体  
フ. 灰じり  
ト. 混合廃棄物その他

